

南部龍神 劇的サヨナラ

4番和田、一打で決める

第100回全国高校野球選手権記念和歌山大会は12日、和歌山市の紀三井寺球場で1回戦の3試合があった。第3試合は、南部龍神が4番和田のサヨナラ本塁打で田辺工業を4-3で破った。(5面に関係記事)

第100回全国高校野球選手権

和歌山大会



【12日】

①第3試合(1回戦) 田辺工業

0	0	0	0	1	2	0	0
1	0	2	0	0	0	0	0
1	0	2	0	0	0	0	1
x	4	3					

南部龍神

〔田〕小田 中家〔南〕小川 和田▽本塁打▽和田〔南〕▽二塁打▽前田、畑谷〔田〕

今大会最初の紀南勢同士の対決は、劇的な幕切れとなった。南部龍神は3-3で迎えた9回裏、先頭の4番和田が左越えのサヨナラ本塁打を放った。

殊勲の和田は「とりあえず塁に出ようと打席に入った。打った瞬間入ったと思った。」

△ 田辺工業—南部龍神 サヨナラ本塁打を放ち、仲間に迎えられ南部龍神の和田(12日、紀三井寺球場で)

田辺工業	打	安	点
[中]	森	5	3
[投]	田	5	1
[三]	田	5	1
[右]	田	4	3
[捕]	村	3	0
[左]	谷	5	2
[遊]	家	4	4
[遊]	川	4	1
[遊]	保	4	1
[遊]	残	4	1
[遊]	併	12	39
[遊]	球	2	1
[遊]	振	6	2

南部龍神	打	安	点
[遊]	中	2	1
[三]	富	3	2
[中]	岡	4	0
[捕]	原	4	1
[左]	田	3	0
[右]	倉	3	0
[右]	山	3	0
[投]	川	3	0
[投]	川	3	1
[投]	川	3	1
[投]	残	3	1
[投]	併	12	39
[投]	球	2	1
[投]	振	6	2

投手	回	安	責
小田	8%	5	3
小川	9	12	1

今までの中で最高のホームラン」と喜びを爆発させた。南部龍神は6、7回に失策絡みの失点で同点に追い付かれ苦しい展開となったが、守りでも8回に捕手和田が相手の盗塁を刺して流れを引き戻した。

田辺工業は12安打を放って試合を押し気味に進めたが、南部龍神の先発投手小川に要所を抑えられた。

田辺工業でただ1人のマネジャー、岩根萌優さん(3年)は「点を取った時のみんなの笑顔が印象に残っている。最後は悔しかったけど、田辺工業らしい粘りを見せてくれた」と涙ながらに語った。

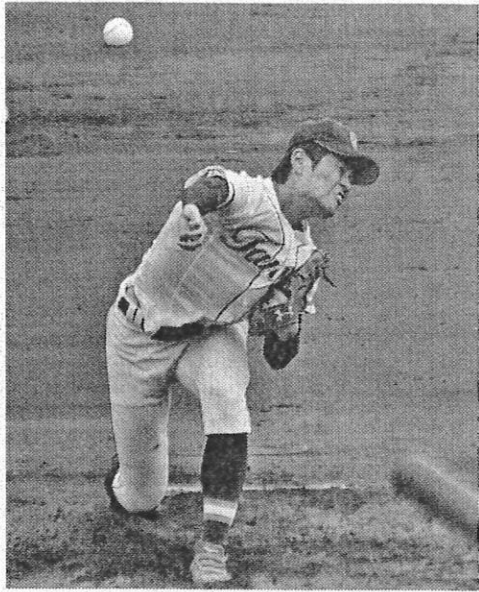
①第1試合(1回戦) 粉河5-3 県和歌山
②第2試合(1回戦) 和歌山北6-1 有田中央



田辺工業

田辺工業のエース小田隆太(17)は、みなべ町高校中学校出身。スターティングメンバーには同中学出身が他に4人。2年生捕手の中家大輔は少年野球クラブの後輩で、高校に入ってからバッテリーを組んだ。「投手の調子を見て、三振を取れるコースを考えてくれる」と信頼を寄せられる。

調子はいつも通りだった。ただ、チームや自らのミスにつけ込まれ、1回に1点、3回に2点を失った。「ミスをカバーする投球ができなかった」と悔やんだが、4回以降は相手打線を



夢は後輩に託す

抑え、6-8回は1人もランナーを出さなかった。5回まで田辺工業は無得点。応援席では、母の節子(48)が「まだまだこれから。頑張れ」と声援を送った。同校生徒や保護者の応援を受け、中盤にはチームの打線もつながっていった。6回に1点、7回に2点を返し、同点に追い付いた。

3-3で迎えた9回裏、南部龍神の先頭打者は4番。甘いコースを投げる

と打たれてしまつ」と警戒はしていたが、アウトコース狙いで投げたスライダーが、抜けて真ん中高めになった。打たれた瞬間、小田はホームランを覚悟した。打球はその通り、フェンスを越え、試合が終わった。

小田はこの日、2番打者として5打数1安打。「チームは相手よりも多くヒットを打ったが、自分が打線をつなげられなかった」と振り返った。一方で「試合でやれることはやった。後輩には来年、僕たちが行けなかったベスト8以上を成し遂げてほしい」と話した。(敬称略)

△ 気迫の投球を見せるエースの小田隆太